

2023年6月5日

各位

会社名 株式会社 R I S E
代表者名 代表取締役社長 芝 辻 直 基
(コード番号 8836)
問合せ先 コーポレート統括部 経営管理部
担当部長 杉 山 顕 士
(TEL : 03-6632-0711)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書について

当社は、令和5年3月末時点において、スタンダード市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の令和5年3月時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準に適合していません。当社は、今回不適合となった流通株式時価総額を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (基準日時点)	10,610人	450,610単位	9.71億円	46.9%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%
抵触項目	—	—	○	—
計画期間	—	—	2025年3月末	—

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取り組み内容

(1) 基本方針

この度のスタンダード市場上場維持基準における「流通株式時価総額」の上場維持基準に適合していなかった状況を踏まえ、より一層の企業価値の向上を目指し、持続的な利益成長を生み出し、また、ガバナンス・内部統制体制を強化し、投資家にとって魅力ある企業となり早期に上場維持基準に適合するよう努力してまいります。

(2) 課題

当社は、今回、流通株式時価総額において上場維持基準を充たしておりませんが、流通株式数、流通株式比率はいずれも上場維持基準を充たしております。このことから流通株式時価総額が上場維持基準を充たしていない主な要因は、当社の株価の低迷にあります。

令和5年3月31日時点の流通株式数は450,610単位、株価の最終価格平均値は、21.55円でありました。流通株式時価総額基準（10億円）を充たすためには、流通株式数を同水準と仮定した場合、株価の最終価格平均値は、22.20円以上である必要があり0.65円の株価上昇が必要となります。

株価低迷の主な要因は、直前期は連結当期純利益を計上いたしましたが、それ以前は2期連続で連結当期純損失となるなど、投資対象として敬遠されていると思われまます。また、過去には過年度の有価証券報告書の訂正や財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関する報告の提出をしており、投資家の信頼を損ねる一因と成っております。

今後の課題は、持続的な利益成長を目指すことと、ガバナンスの強化により投資家の信頼を得て魅力ある会社となることにより、株式の売買を活発化させ株価を上昇させていくこととであります。

(3) 取組内容

①利益向上の取組

当社グループでは、不動産管理事業と不動産賃貸事業を収益の柱としております。不動産管理事業においては、取引先の信頼を得るよう日々事業を進めております。受託している管理物件数は不動産管理事業を始めた3年前の48物件から直近では59物件まで増加しており、売上高と利益の増加に寄与しております。これからも取引先との信頼関係を維持し新たな受託物件獲得に努め更なる利益向上を目指します。

また、保有している遊休不動産については売却及び賃貸としての利用を促進するよう努めてまいります。従来より遊休不動産の売却活動を進めており、過去4年間に於いて5物件の売却により総額238百万円の利益を計上することができました。引き続き売却活動と賃貸による収益化活動を精力的に進めてまいります。

②ガバナンス、内部統制の強化

有価証券報告書の訂正等、負の側面から生じるイメージを払拭するために、今後は、訂正、不備の報告事項が発生しないよう役職員一丸となってガバナンス、内部統制の強化に努め、信頼のおける企業となるよう努力してまいります。

③IR活動の活性化

当社グループにおいてIR活動は、これまで必要最低限の情報開示に留まっており積極的に実施してきたとは言い難い状況でありました。投資家の皆様に当社の状況等が伝わらず株式購入意欲を醸成することができず株価低迷の一因になっていたと思われまます。今後は、タイムリーな情報を積極的に公開することと共に、ホームページのリニューアルの実施等により、より多くの方に当社の状況をご理解していただけるよう努めてまいります。

以 上